

# 第77回国民体育大会バドミントン競技青森県予選会 兼 第74回東北バドミントン選手権大会青森県予選会開催要項

1. 主催 青森県バドミントン協会、(公財)青森県スポーツ協会、青森県高体連バドミントン専門部
2. 主管 黒石市バドミントン協会、青森市バドミントン協会
3. 期 日 令和4年7月2日(土)～3日(日) 午前9時試合開始  
2日(土) 少年男女複、少年以外 男女単  
3日(日) 少年男女単、少年以外 男女複と混合
4. 会 場 スポカルイン黒石
5. 種 目 単・複(30歳以上女子、40歳以上女子、50歳以上男子は複のみ)
6. 種 別 少年・・・平成16年4月2日以後出生の者(中学3年生まで)  
成年・・・平成16年4月1日以前出生の者  
30歳以上・・・平成4年4月1日以前出生の者  
40歳以上・・・昭和57年4月1日以前出生の者  
50歳以上・・・昭和47年4月1日以前出生の者  
混合・・・高校生以下を除く
7. 競技方法 トーナメント方式で行う。必要であれば3位決定戦を行う。
8. 競技規則 2022年度(公財)日本バドミントン協会競技規則・大会運営規定による。  
競技の服装は(公財)日本バドミントン協会の審査合格とする。
9. 参加資格 青森県バドミントン協会に大会当日迄に登録している者。  
なお、青森県内の大学生及び青森県内の中学・高校を卒業し県外の大学へ進学した者もふるさと登録を行えば参加できる。  
\*登録料 少年1,000円、大学生1,500円、一般2,500円  
高校については、春季・総体においてベスト8(複はどちらか一方がはいっていればよい)に入っている者。  
一般の出場種目については、2種目出場の場合、出場資格を有する年齢で異なる年齢の種目へ参加することができる。  
**【例】40歳 男子の場合**  
1種目目：40歳以上複へエントリー 2種目目：30歳以上単へエントリーなど、年代を変えて参加することができる。ただし、50歳以上にはエントリー不可(40歳・30歳・成年・混合へエントリー可)
10. 参加料 1人1種目 少年1,000円、少年以外1,800円  
なお、国体予選(少年・成年)参加者は国体参加者傷害補償制度に加入しなければならない。但し、各種目とも準々決勝進出者とする。
11. 申し込み 1人2種目以内とし、混合を除いて1種別とする。  
別紙申し込み用紙に記入の上、**6月17日(金)**必着で下記宛まで。  
〒030-0813 青森市松原1丁目14-12-804 佐々木 綾子 あて  
Mail a-sasaki@aobad.jp  
TEL 017-721-3434  
携 帯 090-2270-3123  
\*申込書データは青森県バドミントン協会ホームページへ掲載しています。  
**\*上記申込方法以外での受付は一切いたしません。**
12. 表 彰 1位～3位には賞状を授与する。
13. その他 ①参加料、登録料等については、大会当日迄(当日可)に納入してください。  
②体育館は午前8時30分に開館します。正面玄関より入館し必ず体温を測り受付時に体温を報告してください。  
なお当日37.5度以上ある場合は入館不可、棄権扱いとします。  
③少年・成年については、この大会の各種目ベスト8以上を国体、東北ブロック大会青森県予選会とします。

国体、東北ブロック大会に出場する監督・選手については、青森県バドミントン協会理事会に諮り決定します。

なお、少年男女については各種大会及び本大会の結果を総合的に判断し、理事会に諮り決定します。

- ④ふるさと登録をする方は当日印鑑を携行してください。(必須)
- ⑤国体東北ブロック大会は8月25日(木)～26日(金)青森県黒石市で開催されます。(有・無観客未定)
- ⑥第77回国民体育大会は10月7日(金)～10日(月)まで栃木県大田原市で開催されます。
- ⑦東北バドミントン選手権は8月25日(木)～28日(日)まで青森県黒石市で開催されます。(有・無観客未定) 成年・30歳以上・40歳以上・50歳以上・混合の上位入賞者は参加して下さい。参加料・交通費等は自己負担となります。
- ⑧少年の部へ参加した者は第53回青森県総合選手権大会の出場資格を得ます。

#### ◆コロナ対応について

入館時に指手の消毒・除菌・検温すること

(37.5度以上の選手は入館禁止とし棄権扱いとする)

試合当日の参加者名簿を提出(検温記録の保存)すること

登録選手・監督・コーチ以外の者は入館禁止とする

試合をしていない選手・監督・コーチ(スタッフ含む)は全員マスクの着用をすること

試合中は当該選手と監督・コーチのみフロアへの入場可とする

応援は拍手のみとする。

観覧席の待機場所はチーム毎とし、一区画空けるなどの対応をすること